

スピーカー

NS-2000A

取扱説明書

安全上のご注意

ご使用前に、必ずよくお読みください。

必ずお守りください

ここに示した注意事項は、本製品を安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

「警告」「注意」について

誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を区分して掲載しています。

記号表示について

本製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

注意喚起を示す記号



禁止を示す記号



行為を指示する記号



- 点検や修理は、必ずお買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターにご依頼ください。
- 不適切な使用や改造によりお客さまがけがをしたり本製品が故障したりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。
- 本製品は一般家庭向けの製品です。生命や高額財産などを扱うような高度な信頼性を要求される用途に使用しないでください。

警告

「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

異常に気づいたら



必ず実行

下記のような異常が発生した場合、すぐにアンプやレシーバーの電源を切る。

- 本製品から異臭、異音や煙が出た場合
- 本製品の内部に異物が入った場合
- 使用中に音が出なくなった場合
- 本製品に亀裂、破損がある場合

そのまま使用を続けると、感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターに点検や修理をご依頼ください。

設置



必ず実行

取扱説明書で指示された方法で設置する。

落下や転倒して、けがや破損の原因になります。



必ず実行

設置後は必ず安全性を確認する。定期的に安全点検を実施する。

落下や転倒して、けがをする可能性があります。



必ず実行

スピーカーケーブルは必ず壁などに固定する。

ケーブルに足や手を引っかけるとスピーカーが落下や転倒し、故障やけがの原因となります。

分解禁止



禁止

本製品を分解したり改造したりしない。

火災、感電、けが、または故障の原因になります。

水に注意



禁止

浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところや水がかかるところで使用しない。

本製品の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。

内部に水などの液体が入ると、火災や感電、または故障の原因になります。

火に注意



禁止

本製品の近くで、火気を使用しない。
火災の原因になります。

取り扱い



禁止

本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしない。
感電や火災、または故障のおそれがあります。



注意

「傷害を負う可能性が想定される」内容です。

設置



禁止

塩害や腐食性ガスが発生する場所、油煙や湯気が多い場所に設置しない。
故障の原因になります。



禁止

地震など災害が発生した場合は本製品に近づかない。
本製品が転倒または落下して、けがの原因になります。



必ず実行

本製品を持ち運びする場合は、必ず2人以上で行う。
本製品を1人で無理に持ち上げると、腰を傷めるおそれがあります。また、本製品が落下してけがや破損の原因になります。



必ず実行

本製品を移動する前に、必ず接続ケーブルをすべて外す。
ケーブルを傷めたり、お客様やほかの方々が転倒したりするおそれがあります。

聴覚障害



禁止

大きな音量で長時間本製品を使用しない。
聴覚障害の原因になります。異常を感じた場合は、医師にご相談ください。



必ず実行

ほかの機器と接続する場合は、すべての電源を切った上で行う。
聴覚障害、感電または本製品の損傷の原因になることがあります。

取り扱い



禁止

本製品のバスレフポート（背面の穴）に手や指を入れない。
けがの原因になります。



禁止

本製品のバスレフポート（背面の穴）から金属や紙片などの異物を入れない。
火災、感電、または故障の原因になります。



禁止

小さな部品は、乳幼児の手の届くところに置かない。
お子様が誤って飲み込むおそれがあります。



禁止

次のことをしない。
• 本製品の上に乗る。
• 本製品の上に重いものを載せる。
• 入力端子に無理な力を加える。
• 本製品に寄りかかる。
けがをしたり、本製品が破損したりする原因になります。



禁止

接続されたケーブルを引っ張らない。
接続されたケーブルを引っ張ると、本製品が転倒して破損したり、けがをしたりする原因になります。



禁止

音がひずんだ状態では本製品を使用しない。
本製品が発熱し、火災の原因になることがあります。



必ず実行

本製品と組み合わせて使うアンプやレシーバーを選ぶとき、アンプやレシーバーの出力レベルが本製品の許容入力レベル（10ページ参照）以下であることを確認する。
出力レベルが許容入力レベルを超えていると、火災や故障の原因になります。

ご注意

製品の故障、損傷や誤動作、データの損失を防ぐため、お守りいただく内容です。

設置

直射日光のあたる場所やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところで使用しないでください。本製品のパネルが変形したり、内部の部品が故障したり、動作が不安定になったりする原因になります。

接続

外部機器を接続する場合は、各機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。説明に従って正しく取り扱わない場合、故障の原因となります。

取り扱い

本製品上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かないでください。本製品のパネルが変色/変質する原因となります。

お手入れ

極端に湿度が変化すると、本製品表面に水滴がつく（結露する）ことがあります。水滴がついた場合は、柔らかい布ですぐに拭きとってください。水滴をそのまま放置すると、木部が水分を吸収して変形する原因となります。

お手入れの際は、乾いた柔らかい布をご使用ください。ベンジンやシンナーなどの薬剤、洗剤、化学ぞうきんなどを使用すると、変色/変質する原因となります。

スピーカー

振動板には触れないようにしてください。振動板が破損する原因となります。

本製品は磁石が使われています。磁気の影響を受けるもの（ブラウン管テレビ、時計、キャッシュカードなど）を本製品の上やそばに置かないようにしてください。

お知らせ

製品に搭載されている機能に関するお知らせ

- ・スピーカーに左右の指定はありません。
- ・バスレフポートから空気が吹き出す場合がありますが、本製品の故障ではありません。特に、低音成分の多い音を出力する場合に起こります。

本書の記載内容に関するお知らせ

本書は本製品をお使いになる方を対象とした取扱説明書です。

本書では注意事項などを次のように分類しています。



警告

「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容が記載されています。



注意

「傷害を負う可能性が想定される」内容が記載されています。

ご注意

製品の故障、損傷や誤動作、データの損失を防ぐため、また環境保護のため、お守りいただく内容が記載されています。

お知らせ

使用時の注意点や機能の制約、知っておくと便利な補足情報が記載されています。

本書に掲載されているイラストは、すべて説明のためのものです。

本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

廃棄・譲渡について

- ・本製品を譲渡する際は、本文書と付属品も合わせて譲渡してください。
- ・本製品および付属品を廃棄する際は、各自治体の廃棄処分方法に従ってください。

本製品の銘板に関するお知らせ

機種名(品番)、製造番号(シリアルナンバー)、電源条件などの情報は、製品の底面にある銘板または銘板付近に表示されています。製品を紛失した場合などでもご自身のものを特定していただけるよう、機種名と製造番号については以下の欄にご記入のうえ、大切に保管していただくことをお勧めします。

機種名

製造番号

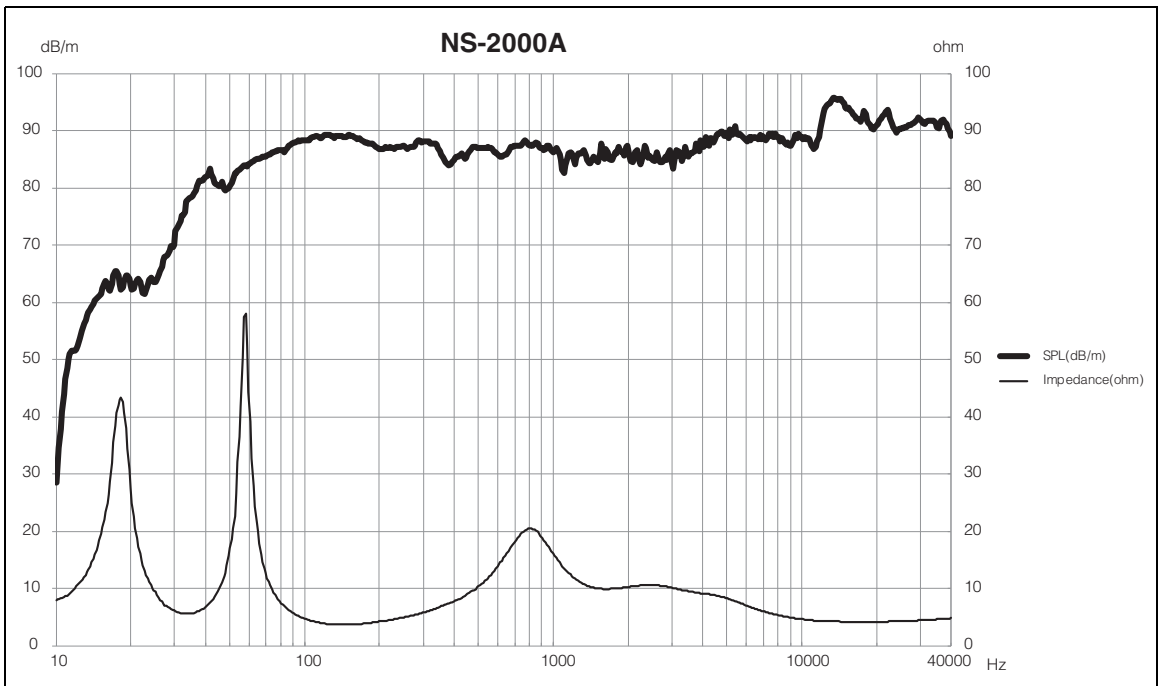
目次

安全上のご注意.....	2	スピーカーの設置.....	6
本製品の特長.....	5	サラネットの取り付け.....	8
本製品の特性表.....	5	アンプとの接続.....	9
付属品.....	5	仕様.....	10
各部の名称.....	6		

本製品の特長

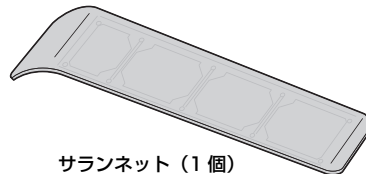
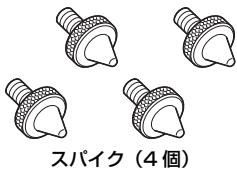
- 3ウェイ バスレフ型スピーカーシステム
- 「Harmonious Diaphragm (ハーモニアスダイアフラム)」を採用
- 振動板の背後で発生する不要な共振を抑制する「R.S. チャンバー」を採用
- キャビネット内部の定在波を効率的に打ち消す「アコースティックアブソーバー」を採用
- 「ツイステッドフレアポート」を採用

本製品の特性表

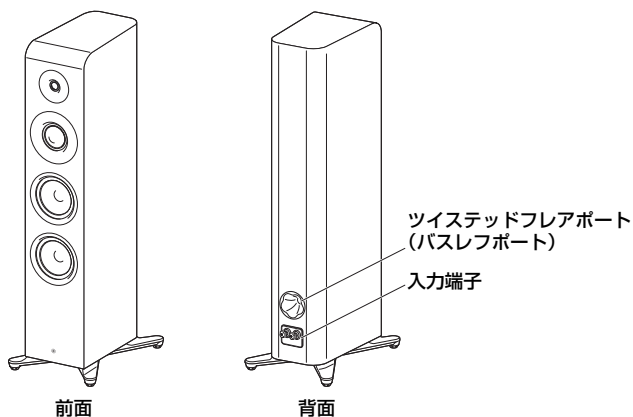


付属品

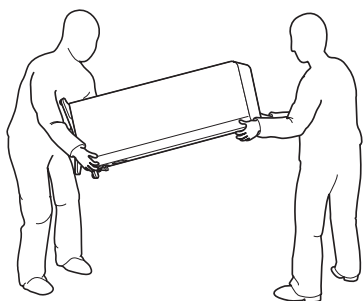
付属品がそろっているか、確認してください。



各部の名称



スピーカーの設置



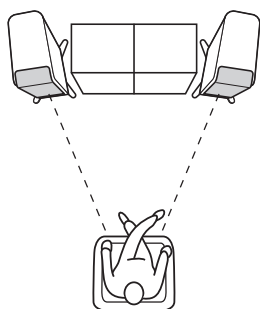
⚠ 注意

開梱や持ち運びは、必ず2人以上で行う。
本製品が落下や転倒して、けがの原因になります。

ご注意

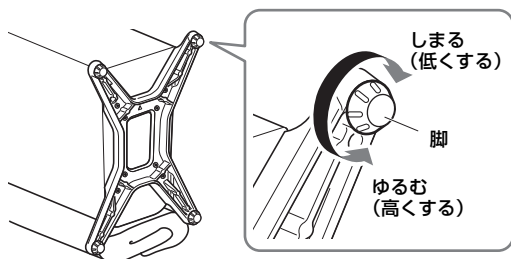
- 前面の振動板部分には触れないようにしてください。破損の原因になります。
- 本製品は非防磁設計です。ブラウン管テレビの近くに設置すると、色ムラや雑音などが生じる場合があります。そのときは、テレビとスピーカーの距離を離して使用してください。

■ 2チャンネルスピーカーシステムとして



図のようにリスニングポジションに対して少し内側に向けて設置することにより、効果的なステレオ再生ができます。

■ 脚を調整する



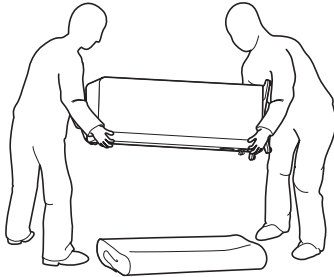
工場出荷の際、本製品には底面に脚が取り付けられています。

脚はアジャスター機能がついています。本製品の高さを微調整することにより、設置場所でのガタツキを防止します。脚が外れて本製品が転倒する場合がありますので、ゆるめすぎにご注意ください。

■ 付属のスパイクを付けて本製品を使用する

厚いじゅうたんなどの上に本製品を設置する場合、付属のスパイクを取り付けることにより安定性と音質を向上させることができます。その際は、次の手順でスパイクを取り付けてください。

1



⚠ 注意

- 本製品の設置、移動などは、必ず2人以上で行ってください。本製品が落下または転倒してけがの原因になります。

1 スピーカーを背面を下にして床に置く。

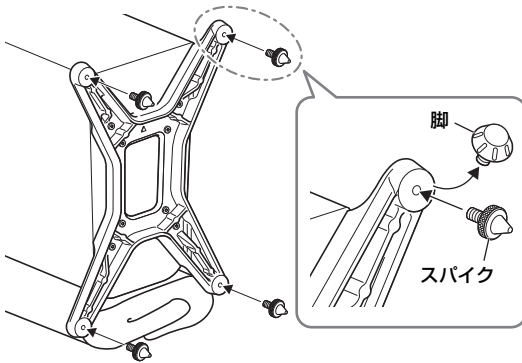
毛布やクッションなどを敷いて、キズが付かないようにしてください。

2 脚をゆるめて取り外し、脚のネジ穴にスパイクをねじ込む。

3 4本のスパイクを取り付けたら、設置する場所にスピーカーを立てる。

ガタツキがある場合、スパイクを回してガタツキのないように調整してください。

2



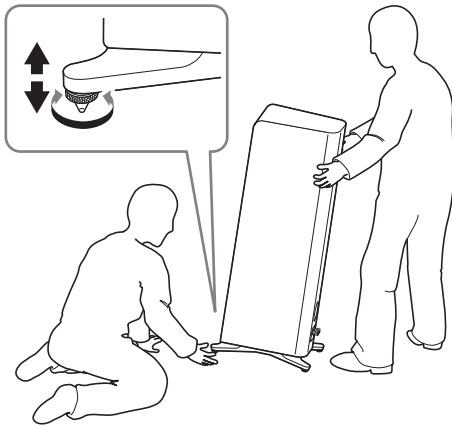
⚠ 注意

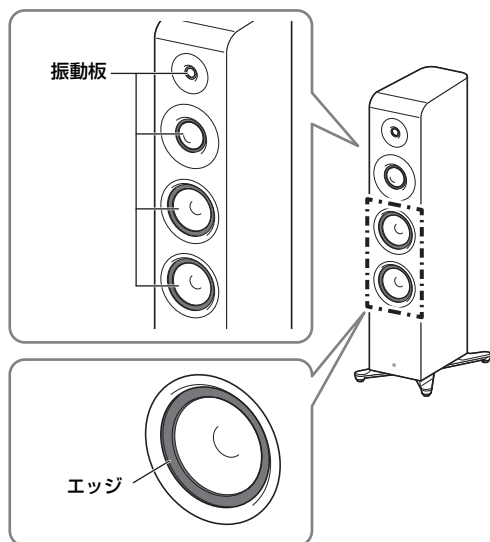
- スパイクをゆるめすぎると本製品から外れることがありますのでご注意ください。
- 本製品を傾けながら取り付ける場合は、転倒しないよう、必ず2人以上で行ってください。転倒によりけがや破損の原因になります。

ご注意

- スパイクの先端で床をこするとキズが付くことがあります。スピーカーを設置する際や移動の際はご注意ください。
- スパイクの取り付けは、床にキズが付かないように行ってください。
- 本製品の重量により、床やじゅうたんなどに跡が付く場合があります。

3



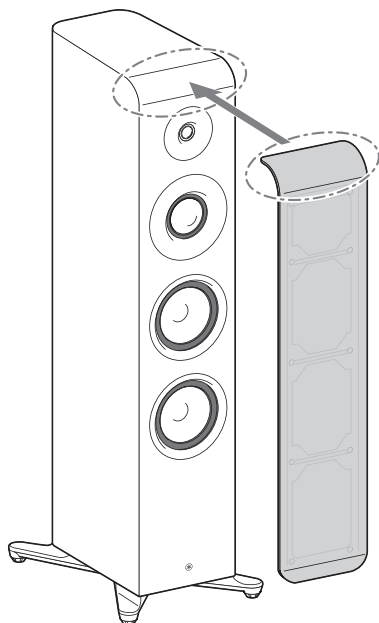


お知らせ

- 本製品のツイーター、ミッドレンジ、ウーファーすべての振動板には Spruce（スプルース）という天然素材を使用しています。そのため振動板の表面に素材の繊維やチップが見える箇所がありますが、これは不良ではなく天然素材によるもので、品質には全く問題ありません。
- 振動板を支えるウーファーエッジのゴムは、音質を最優先させた材料を使用しています。まれに白化することがありますが、ゴムの成分が析出したものです。性能にはまったく影響ありませんので安心してお使いください。

サラネットの取り付け

本製品とサラネットは、別々に梱包されています。サラネット裏面にはマグネットが付いています。本製品前面上部の曲面にサラネットを合わせると装着できます。



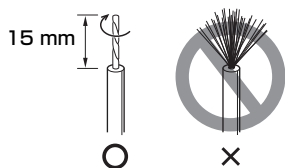
ご注意

- サラネットが確実に本製品に装着されているか確認してください。振動などにより本製品から外れると、破損や故障の原因となります。
- 前面のすべての振動板には、触ったり無理な力を加えたりしないでください。音が歪んだり、故障の原因となります。
- サラネットの布部分を押さえたり、無理な力を加えたりしないでください。破損の原因となります。
- 本製品のサラネット裏面には磁石が使われています。取り外したサラネットを磁気の影響を受けるもの（ブラウン管テレビ、時計、磁気カードなど）には近づけないでください。

アンプとの接続

接続するときは、必ずアンプなどの電源を切ってから行ってください。

■ 接続について

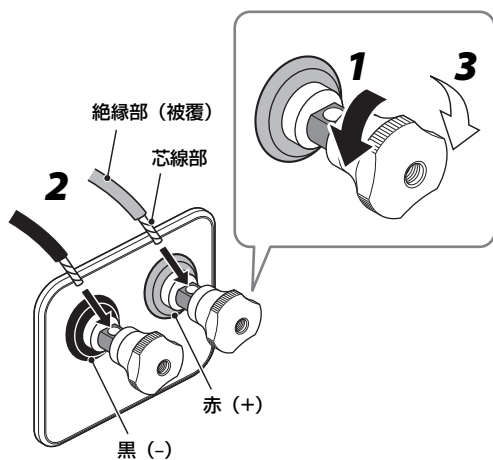


スピーカーケーブル先端の絶縁部（被覆）をよじりながら引き抜きます。

市販のスピーカーケーブルをご用意ください。

スピーカーケーブルの太さや材質は、再生音質に影響を与えます。本製品の性能を十分に発揮させるために、高品質のスピーカーケーブルを使うことをおすすめします。

■ 接続のしかた



1 本製品背面にある入力端子を左に回してゆるめる。

⚠ 注意

• 入力端子のツマミは、いっぱいゆるめると外れます。誤って飲み込むおそれがありますので、外したツマミは乳幼児の手の届くところに置かないでください。

2 スピーカーケーブルを入力端子の穴に差し込む。

お知らせ

- スピーカーケーブルを差し込む端子穴の径：6.0 mm
- ケーブルの絶縁部（被覆）を穴の中に入れてください。音が出ないことがあります。

3 入力端子を右に回して締めつける。

芯線部が穴からはみ出していないかどうかを確認してください。

4 スピーカーケーブルをアンプのスピーカー端子 L（左）とスピーカー端子 R（右）に接続する。

お知らせ

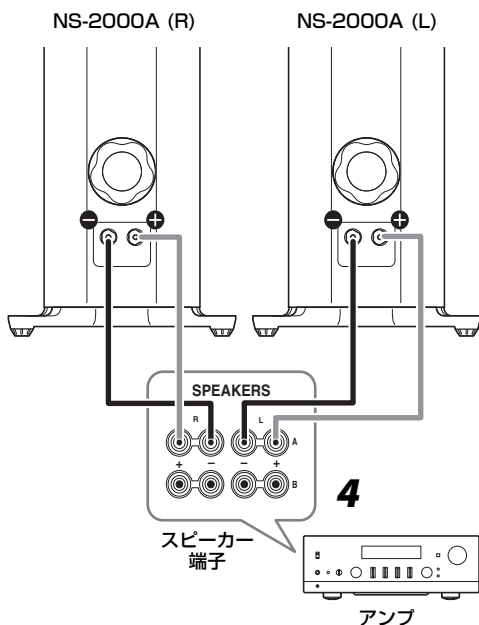
- 本製品の赤端子はプラス（+）、黒端子はマイナス（-）です。
- 極性（+、-）を間違えると不自然な音になります。

ご注意

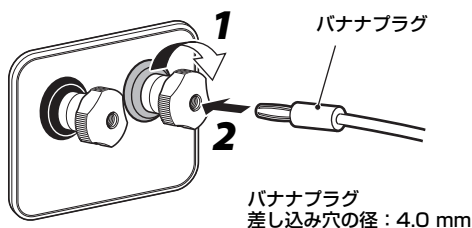
- スピーカーケーブルのプラス（+）とマイナス（-）芯線どうしが接触したり、芯線が他の金属部に接触することのないようご注意ください。スピーカーを破損する原因となります。
- スピーカーケーブルは必ず壁などに固定してください。手や足に引っかけて本製品が転倒する原因になります。
- アンプのトーンコントロール（BASS、TREBLE 等）やイコライザーを最大にして過大出力で使用したり、特殊な信号（テープの早送り時の音、ターンテーブルの針先のショック音、信号発生器の特定の周波数、サイン波などの再生波）を連続して入力することは、スピーカーの破損の原因となりますので、絶対に行わないでください。

お知らせ

- スピーカーの許容入力以上の出力を持つアンプを使用する場合は、スピーカー保護のため、最大入力以上の出力を入力しないよう、ご注意ください。
- 接続する際は、アンプの取扱説明書もあわせて参照してください。



■ 市販のバナナプラグを使用する場合



- 1 入力端子を右に回して強く締める。
- 2 バナナプラグを入力端子に差し込む。

仕様

型式.....	3ウェイ バスレフ型 ／非防磁型	許容入力.....	60 W
スピーカーユニット.....	3 cm ドームツイーター × 1 8 cm ドームミッドレンジ × 1 16 cm コーンウーファー × 2	最大入力.....	200 W
インピーダンス.....	6 Ω (最小 3.5 Ω)	出力音圧レベル.....	88 dB/2.83 V, 1 m
再生周波数帯域.....	34 Hz ~ 65 kHz (-10 dB) ~ 100 kHz (-30 dB)	クロスオーバー周波数.....	750 Hz/3.5 kHz
		外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行き)	
			330 × 1124 × 459 mm
			330 × 1134 × 459 mm (スパイク使用時)
		質量.....	34.6 kg

※ 上記の最大入力値以上の信号を加えないよう十分ご注意ください。

※ この取扱説明書では、発行時点の最新仕様で説明をしております。最新版の取扱説明書につきましては、ヤマハウェブサイトからダウンロードしてお読みいただけますようお願いいたします。

お問い合わせ窓口

ヤマハAV製品の機能や取り扱いに関するお問い合わせ

■お客様コミュニケーションセンター オーディオ・ビジュアル機器ご相談窓口



0570-011-808

受付：月～金曜日 10:00～17:00

(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。
通話料金は音声案内で確認できます。

上記の番号でつながらない場合は、以下の番号におかけください。
TEL (053) 460-3409

<https://jp.yamaha.com/support/>

ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問い合わせ

■ヤマハ修理ご相談センター



0570-012-808

受付：月～金曜日 10:00～17:00

(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。
通話料金は音声案内で確認できます。

上記の番号でつながらない場合は、以下の番号におかけください。
TEL (053) 460-4830

FAXでのお問い合わせ

北海道、東北、関東、甲信越、東海地域にお住まいのお客様
(03) 5762-2125

北陸、近畿、中国、四国、九州、沖縄地域にお住まいのお客様
(06) 6649-9340

修理品お持ち込み窓口

受付：月～金曜日 10:00～17:00

(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

*お電話は、ヤマハ修理ご相談センターでお受けします。

東日本サービスセンター

〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1
JMT京浜E棟 A-5F
FAX (03) 5762-2125

西日本サービスセンター

〒556-0011 大阪市浪速区難波中1丁目13-17
ナンバ辻本ビル7F
FAX (06) 6649-9340

*名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

●保証期間

製品に添付されている保証書をご覧ください。

●保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎているとき

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

●修理料金の仕組み

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

●補修性能部品の最低保有期間

補修性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。補修性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●製品の状態は詳しく

サービスをご依頼されるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。

※品番、製造番号は製品の背面もしくは底面に表示してあります。

●スピーカーの修理

スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。

●摩耗部品の交換について

本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。

本機を末永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをおすすめします。

摩耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターへご相談ください。

摩耗部品の一例

ポリウムコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

※このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。

永年ご使用の製品の点検を！



愛情点検

こんな症状はありませんか？

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズか変形がある。
- 製品に触れるとビリビリと電気を感じる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

ヤマハ株式会社

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1

Yamaha Global Site
<https://www.yamaha.com/>

Yamaha Downloads
<https://download.yamaha.com/>

© 2022 Yamaha Corporation

2022年 11月発行 IPEI-B0

VEK6470